

# 男子ホッケー チャンピオンズチャレンジ I 2014

日付	2014年5月4日 14:45~16:15		
場所	マレーシア・クアンタン	天候	晴れ
試合	第6戦(7・8位決定戦)	通算結果	日本 2勝4敗

Country	RESULT		Country
日本	Full Time	3 - 2	ポーランド
JAPAN	Half Time	1 - 2	POLAND

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
✓	1	高瀬克也(GK)			
7	3	粥川幸司(C)	46		
8	4	佐々木拓郎			
✓	5	塩川直人			
8	6	河内伸仁			
✓	7	小野知則			
✓	8	北里謙治			
✓	9	藤本一平		60	
✓	11	川上啓			
✓	14	長澤克好			
✓	15	山下学			
✓	16	畠山学			
4	18	井島光希			
✓	23	坂本博紀			
4	29	山部晃嗣			
7	30	吉原平太			
	31	森嶋彬(GK)			
✓	32	橋敏郎			
Coach		姜建旭			
監督		藤原信幸			
UMPIRE		BALE Bruce(ENG)			

Minute	Shrit#	Name	GREEN	YELLOW	RED
	1	MATUSZAK Arkadiusz (C, GK)			
4	4	RACINIEWSKI Michal			
✓	7	GÓRNY Tomasz	66		
12	9	SELLNER Sebastian			
✓	10	WEIDE Philipp			
✓	12	DOMACHOWSKI Lukasz (GK)			
✓	13	WACHOWIAK Tomasz			
✓	14	ZYWICZKA Bartosz			
3	16	CHWALISZ Adam			
✓	17	MAKOWSKI Krystian			
7	20	NOWAKOWSKI Michal			
✓	22	MAJCHRZAK Karol			
4	23	KOZLOWSKI Piotr			
4	25	KROKOSZ Adrian			
✓	26	KASPRZYK Michal			
✓	27	BRATKOWSKI Pawel			
✓	29	POLTASZEWSKI Michal			
✓	30	POLTASZEWSKI Mateusz			
Coach		SNIEZEK Karol			
監督		CICHY Tomasz			
UMPIRE		EILMER Michael(AUT)			

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	18	橋敏郎	FG	1-0
POL	28	BRATKOWSKI Pawel	PC	1-1
JPN	29	橋敏郎	FG	2-1

Team	Minute	Name	Action	Score
JPN	43	河内伸仁	FG	3-1
POL	50	RACINIEWSKI Michal	FG	3-2

チャンピオンズチャレンジ I 2014最終戦(7・8位決定戦)はポーランドとの再戦である。  
 (前半)  
 日本は立ち上がりから何度もポーランド陣内に攻め込むが、なかなかポーランドゴールをこじ開けることができない。18分日本は敵陣の深いレフトでボールを奪い、畠山がサークル内の橋に素早くパスを流すと、橋はGKのタイミングを上手く外し、リバースからのプッシュシュートを決め日本が先制点を挙げる。28分ポーランドは中央からのドリブル突破でサークルに侵入するとPCを取得。このPCのドラッグフリックシュートは日本DFのスティックに当たり、日本は不運な形で失点してしまう。しかし、日本は失点直後の29分ライトから井島がドリブルで駆け上がり、坂本とのパス交換後、最後はゴール前で橋がタッチシュートを決め2-1とする。ポーランドは前半終了間際の34分、ライトからドリブルでサークルへ侵入すると中央への折り返しからのタッチシュートが日本DFの身体に当たり、PSを取得する。しかしこのPSはゴール右下に外れ日本は難を逃れる。日本1点のリードで試合は後半へ。  
 (後半)  
 後半も前半に続き、立ち上がりから日本は何度もポーランドゴールに迫り、43分吉原がレフトからサークルにドリブルインし、サークルトップでパスを受けた佐々木がシュートを放つと河内が見事に合わせ3点目を奪う。その後ポーランドは反撃を開始し、50分レフトの打ち込みからサークル内での混戦となり、最後はタッチシュートでゴールを奪い、再び1点差となる。その後勢いに乗るポーランドの攻撃の時間帯が続く。60分日本は10分間のイエローカードの反則から厳しい状況に追い込まれ、PCのピンチも2度迎えるが、全員で協力し、最後まで日本ゴールを死守した。  
 日本はこの試合の結果、7位で大会を終えた。  
 なお、この試合のマン・オブ・ザ・マッチには2ゴールを挙げた橋が選出された。

日本	15	シュート数	10	ポーランド
	2	PC数	5	

記載責任者: 男子コーチ 藤原 信幸